

令和 3 年 2 月 1 日

校長氏名 阿久津 光生 印

1 自己評価の結果と分析

(1) 評価項目・内容等

学校評価の項目として、5つの内容に各3～6項目、計20項目の設問を設けて、生徒、保護者、教職員を対象にしてアンケート調査を行った。本年度より新たな試みとしてインターネット（グーグルホーム）によるアンケートを実施した。保護者からの回答は、158件で回収率は約85%という協力を得られた。各項目については4段階（1あてはまる、2ややあてはまる、3あまりあてはまらない、4あてはまらない）での評価（「わからない」という回答欄を設けた）として、肯定的か否定的かの割合がわかるようにし、課題が明確になるようにした。各項目は以下の20項目である。

A 学習指導について

- ①全体的に、教材や指導方法に工夫があり授業がわかりやすく行われている。
- ②全体的に、生徒が主体的に取り組み、考えさせる授業が行われている。
- ③学校は、学習評価・評定に関する情報をわかりやすく伝えている。

B 生活指導について

- ④生徒は明るく充実した生活を送っている。
- ⑤あいさつや授業規律など、「落ち着いた教育環境」の基盤ができています。
- ⑥先生方は、生徒の悩みを聞き、適切なアドバイスをしてくれる。
- ⑦先生方は、生徒の健康管理や安全に適切に取り組んでいる。

C 進路指導について

- ⑧学校は、進路について十分な情報提供をしている。
- ⑨学校は、職場体験や上級学校訪問などの進路学習に積極的に取り組んでいる。
- ⑩学校は、進路について親身になって相談にのってくれる。

D 特別活動等について

- ⑪学校行事では、生徒が意欲的に参加し、生徒同士が協力して行われている。
- ⑫部活動では、生徒が意欲的に参加し、活発に行われている。
- ⑬生徒会や委員会では、生徒が自主的・自発的に活動している。
- ⑭地域の行事やボランティア活動では、生徒が進んで参加・協力している。

E 学校運営について

- ⑮学校の教育目標や方針、骨組みの方向性などがわかりやすく示されている。
- ⑯学校の保護者・地域への説明責任を果たし、意見や要求に応えようとしている。
- ⑰学校は、学年・学校だよりやホームページなどで情報発信を積極的に行っている。
- ⑱学校の教育環境は安全で清潔に整備されている。
- ⑲学校は、公開授業の充実など、開かれた学校づくりに積極的に取り組んでいる。
- ⑳学校は、教職員の指導体制や協力体制がしっかりしている。

(2) 結果・分析

【評価 ◎○▲×の4段階】

A 学習指導について

【自己評価：C】

() は昨年度の値

【昨年度比較 一↑↓ で表記】

	項目	生徒		保護者		教職員		評価・比較	
		肯定%	否定%	肯定%	否定%	肯定%	否定%		
1	教材や指導法の工夫	81(87)	15(5)	53(60)	12(11)	95(88)	5(0)	▲	↓
2	主体的・考えさせる授業	84(85)	11(9)	54(64)	10(11)	95(88)	5(0)	▲	↓
3	評価・評定の情報	82(86)	7(8)	72(69)	16(17)	95(80)	5(8)	○	↑

B 生活指導について 【自己評価：B】

	項目	生徒		保護者		教職員		評価・比較
4	明るく充実した生活	91(93)	4(4)	83(85)	11(5)	95(92)	5(0)	◎ ー
5	挨拶や授業規律	79(74)	14(20)	71(74)	15(13)	95(80)	5(16)	○ ↑
6	悩みへのアドバイス	80(78)	11(7)	73(64)	9(16)	73(64)	9(16)	○ ↑
7	健康管理と安全	88(81)	6(8)	85(81)	4(8)	100(92)	0(0)	○ ↑

C 進路指導について 【自己評価：C】

	項目	生徒		保護者		教職員		評価・比較
8	進路の情報提供	85(82)	5(4)	50(57)	15(19)	95(88)	5(0)	▲ ↓
9	積極的な進路学習	70(82)	8(7)	41(66)	10(12)	63(92)	11(0)	▲ ↓
10	進路相談	72(66)	8(6)	50(50)	9(12)	95(87)	(0)	▲ ↑

D 特別活動等について 【自己評価：B】

	項目	生徒		保護者		教職員		評価・比較
11	学校行事の生徒協力	88(92)	3(4)	82(94)	5(3)	100(96)	0(0)	◎ ー
12	部活動の活発さ	87(92)	5(4)	81(87)	5(9)	100(92)	0(4)	◎ ー
13	生徒会・委員会の自主性	86(91)	5(4)	69(71)	3(10)	95(88)	5(4)	○ ー
14	ボランティア活動	75(84)	7(7)	42(71)	9(9)	58(96)	5(0)	▲ ↓

E 学校運営について 【自己評価：B】

	項目	生徒		保護者		教職員		評価・比較
15	教育目標や方針の明示	81(85)	10(5)	70(73)	8(12)	100(96)	0(0)	▲ ↓
16	保護者・地域への説明責任	70(71)	8(5)	72(77)	5(10)	100(96)	0(0)	○ ー
17	情報発信	85(70)	8(9)	95(77)	3(13)	100(100)	0(0)	◎ ↑
18	教育環境・安全・清潔	81(84)	10(10)	74(80)	11(11)	95(92)	5(8)	○ ー
19	公開授業・開かれた学校	85(86)	4(4)	59(93)	7(3)	72(100)	0(0)	▲ ↓
20	教職員の指導・協力体制	83(79)	8(6)	63(66)	7(10)	100(100)	0(0)	○ ー

2 改善の方策

全体を通して

全体的に肯定的な評価が多く、学校への信頼度や評価は比較的安定していると考えられる。しかし否定的な評価の割合が10%を越える項目や生徒、保護者、教員で評価の大きくことなる項目、「わからない」という回答比率が高い項目もあり、課題を明確にして取り組む必要がある。

A 学習指導について

昨年と比べると、保護者の肯定的評価が低かった。教員の中にはコロナ禍で「三密を避ける」ことで従来の教育活動に取り組みなかったという声が上がっている。サブファミリーでの小中連携授業研究や校内研修等により、新学習指導要領の主体的、対話的で深い学びという視点を持って、「堀中授業スタイル」の深化を図り、学校の授業力を高め、生徒の学力向上を目指す。

B 生活指導について

充実した学校生活、落ち着いた教育環境と安全安心については満足度が高い評価をいただいた。今後はコロナ禍での生徒の悩みの増加を念頭に、カウンセリングマインドを生かした共感的な生活指導の充実を図っていく。

C 進路指導について

保護者の期待と不安が大きいことを再確認した。今後は「進路だより」等で情報発信を積極的に行い、理解・納得の得られる進路指導を展開する。また、キャリア教育を図り1.2年生のうちから進路に対する素養を育てる。

D 特別活動等について

目標にしていたボランティア活躍の充実できず、大変残念であった。来年度は、今まで通りの地域ボランティアを通して、地域との連携を充実させたい。制限されたなかでの部活動は、肯定的な意見をいただいた。

E 学校運営について

教員の指導体制や協力体制について、肯定的な意見がやや低かった。これに対しては学校教員間で指導の均一化を図り、組織対応を強化した体制を確立することで、明確な指導を展開する。また、今年度は、いかにして情報を家庭にお届けするかを考え、学校ホームページの充実を図ったが、その部分での高い評価をいただいた。

令和 3 年度北区立堀船中学校 学校関係者評価報告書

令和 3 年 2 月 9 日

学校関係者評価委員会 委員長 木村 卓史 印

1 学校関係者評価委員会の構成

木村卓史（現本校 PTA 会長・学校関係者評価委員会委員長）
 松本晴光（昭和町地区自治会連合会長）、長谷川顕（堀船町会自治会連合会長）、恒松晃（保護司）
 議波壽男（青少年昭和町地区委員長）、大室洋昭（青少年堀船地区委員長）、亀滝眞理（保護司）
 以上 7 名

※本校の学校評議委員が学校関係者評価委員を兼ねている。

2 学校関係者評価委員会の主な活動

- (1) 第 1 回学校評議員会（R2, 6 月）新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
校長 委嘱状をご自宅に届ける。
- (2) 学校行事（運動会）視察（R2, 10, 9 土）中止
- (3) 少年の主張発表大会中止（各小中学校で来賓等なしで弁論大会実施）
- (4) 第 2 回学校評議員会（R2, 12, 8(火) 18:00 本校会議室）
学校の教育活動の進捗状況について説明と意見交換
- (5) 学校行事（ほりふな祭）視察（R3 年 3 月未定）
- (6) 学校評価アンケートへの協力（12 月）
- (7) 第 3 回学校評議員会（R3, 3 月検討中 本校校長室）
学校の教育活動のふり返りと意見交換等

3 学校関係者評価の結果と分析

(1) 学校関係者評価の内容と方法について

学校の自己評価の資料とした学校評価アンケート（生徒・保護者・教職員対象）と同じ項目のアンケートを学校関係者評価委員にも実施した。これらのデータをまとめた校長による自己評価報告と学校評議員会での意見交換内容をもとに学校関係者評価報告書をまとめた。

(2) 学校関係者評価の結果と分析

【評価 ABCD の 4 段階】

A 学習指導について 【評価 C】 ※生徒・保護者・教職員：人数割合 関係者：評価を点数化

	項目	肯定的意見割合				評価 4段階	
		生徒	保護者	教職員	関係者	学校自己評価	評価
1	教材や指導法の工夫	81	53	95	80	▲	C
2	主体的・考えさせる授業	84	54	95	100	▲	C
3	評価・評定の情報	82	72	95	100	○	B

B 生活指導について 【評価 B】

	項目	肯定的意見割合				評価 4段階	
		生徒	保護者	教職員	関係者	学校自己評価	評価
4	明るく充実した生活	91	83	95	100	◎	A
5	挨拶や授業規律	79	71	95	100	○	B
6	悩みへのアドバイス	80	73	73	100	○	B
7	健康管理と安全	88	85	100	100	◎	A

C 進路指導について 【評価 C】

	項目	肯定的意見割合				評価 4段階	
		生徒	保護者	教職員	関係者	学校自己評価	評価
8	進路の情報提供	85	50	95	100	▲	B
9	積極的な進路学習	70	41	63	100	▲	C
10	進路相談	72	50	95	80	▲	C

D 特別活動等について 【評価 A】

	項目	肯定的意見割合				評価 4段階	
		生徒	保護者	教職員	関係者	学校自己評価	評価
11	学校行事の生徒協力	88	82	100	100	◎	A
12	部活動の活発さ	87	81	100	100	◎	A
13	生徒会・委員会の自主性	86	69	95	100	○	A
14	ボランティア活動	75	42	58	100	○	B

E 学校運営について 【評価 B】

	項目	肯定的意見割合				評価 4段階	
		生徒	保護者	教職員	関係者	学校自己評価	評価
15	教育目標や方針の明示	81	70	100	100	○	B
16	保護者・地域への説明責任	70	72	100	100	○	B
17	情報発信	85	95	100	100	○	A
18	教育環境・安全・清潔	81	74	95	100	○	A
19	公開授業・開かれた学校	85	59	72	100	◎	A
20	教職員の指導・協力体制	83	63	100	100	○	A

4 改善の方策及び意見交換会での主な内容

A 学習指導について

- ・滝野川第五小学校や堀船小学校との連携を深めた取り組みを期待する。

B 生活指導について

- ・友達同士で仲がよい印象であり、挨拶もするが、大人からの声かけや学校の挨拶運動などによるものだけでなく日常的に挨拶ができるようになると良い。

C 進路指導について

- ・高校も色々なタイプがあり、また入試の方法も多岐にわたる。保護者が中学の頃とは大きく異なり、わかりにくいことも多く不安に思うので、学校からの情報提供が大切である。

D 特別活動等について

- ・コロナ禍で部活動や大会がなく、運動会も延期・短縮化され、生徒たちが本当に気の毒である。活動の場所や時間の問題もあると思うが、公園等で活動を認めてあげて欲しいと思う。

E 学校運営について

- ・児童・生徒数の減少を考え、将来的に小中一貫校や小中連携を視野に入れ、堀船地区と昭和町地区の連合会や青少年地区委員が協力を続けることが大切である。地域でのスポーツ交流などを通して、小学校間や小中連携を活発にし、良い方向に向かっていって欲しいと思う。
- ・学齢期の子供がいない家庭では最近の中学校の様子がわからないが、PTAが会長を中心に良く動いてくれて情報が入ってくるので助かっている。PTA会長は学校と保護者、そして地域とのパイプ役で大切である。そして何より、同じ地区の小中3校のPTA間の協力が重要である。
- ・指定校変更や私立等、他校へ進学をする生徒がいるが、地域の活力として地域の学校に進学して欲しいと思う。将来的にも、地元の仲間が増えるので、大人になっても戻ってきやすい。そのためは、学校のPRをもっとする必要がある。玄関の表彰掲示はとても良いので、垂れ幕等でもっと生徒の活躍を宣伝してはどうか。
- ・改築事業が行われるまでは、せめてトイレの改修などを要望していくべきである。